

APPLICATIONS

ブラケット
施工事例集
Vol. 1

Brackets for Cantilevered bridge

HIROSE GIKEN CO., LTD.

ヒロセ技研のこだわり

お客様と直接お打合せ
ご納得の行く設計
自社製作による判る品質



信頼性と経済性 → 顧客満足

<<当社工場での製作 状況>>

主に垂直部材や、特殊な火打ち部材を製作加工しております。

- ① 火打ち部の墨出し作業途中
- ② 火打ち部の穴開け加工終了

- ③ スティフナー・プレート取付け前
- ④ 火打ち部のスティフナー・プレート取付け後

①



②



③



④





概要：橋脚への固定方法は、事前に設置されていたシース管に、PC鋼棒で緊張結合。
元請様との事前打ち合わせの中で「自社保有材を再利用出来ないか?」との相談をお受けして、
転用可能な部材だけを選別し、縦材の一部に再加工、結果無駄なく利用させて頂きました。
工事名：馬洗川橋 上部工 工事（広島県 三次市 三次町～十日町東5丁目 区間）
施主：国土交通省中国地方整備局 三次河川国道事務所殿 元請：オリエンタル白石株式会社 殿





概要：中央ブラケット4本、斜方ブラケット2本、側方ブラケット2本で構成。特に柱頭部に対し支保工を下から立ち上げる工法と異なり、直接側径間に取付けられるブラケットには、トラス支保梁よりの支点反力を受けており、大きな強度が求められます。当社は、中央部ブラケットの火打ちピースを別途設計提案させて頂き、ご承認後に製作し納入致しました。（尚、埋込式PC鋼棒は下部工施工時に別の施工業者様にてご用意）

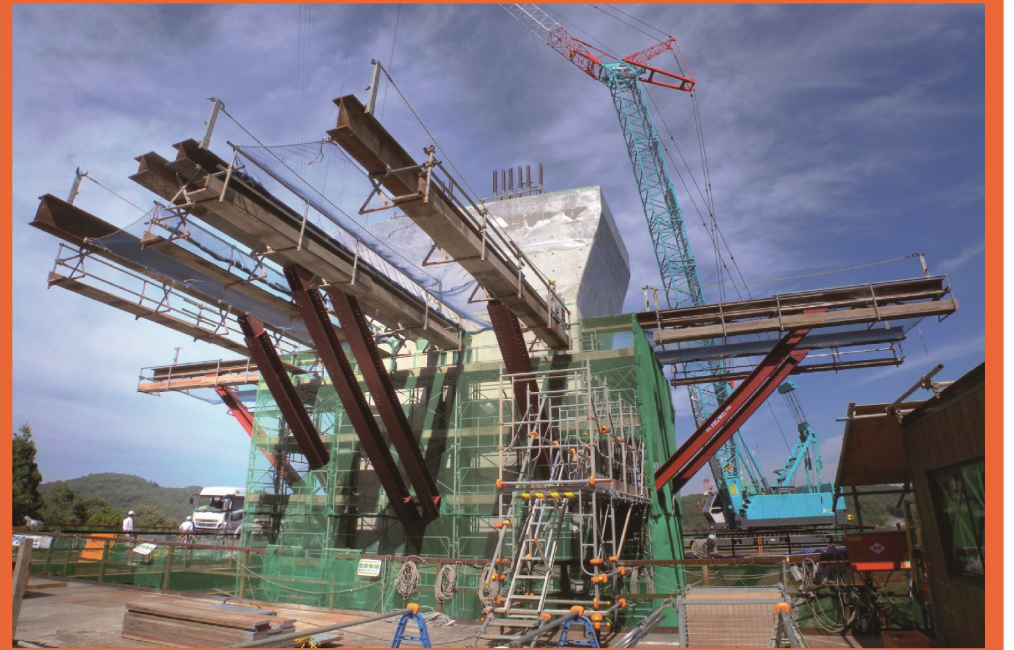
工事名：伏木富山港(新湊地区)道路(東西線)橋梁(P25~P31)上部工事
(富山県 射水市海竜町)
施主：国土交通省 北陸地方整備局 殿
元請：三井住友建設株式会社 殿





概要 : 本工事に於いて、2種類のブラケット取付方法を端部と中央部で使い分けております。
 端部 PC鋼棒 (ピアの端部にシース管を予め設置しておき、相対するブラケットを緊張結合)
 中央部 埋込アンカー(ピア中央部にフォームコネクターを予め設置しハイテン・ボルトにて締結)
 鋼材量 約250トンを投入しピア5箇所へ転用(尚、フォームコネクター及びシース管は予め元請様にてご用意)

工事名 : 第二東名高速道路 青木川橋工事
 (愛知県 岡崎市 米河内町)
 施主 : NEXCO 中日本 殿
 元請 : 大成建設株式会社・オリエンタル白石株式会社 共同企業体 殿





ヒロセ技研株式会社

本社／本店

〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目17番11号(上野BRビル)
TEL (06) 6264-7370番 FAX (06) 6264-7233番

東京支店

〒135-0016 東京都江東区東陽2丁目2番4号(マニユライフプレイス東陽町)
TEL (03) 5677-3266番 FAX (03) 5677-2036番

名古屋支店

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目19番1号(名古屋鴻池ビルディング)
TEL (052) 209-6858番 FAX (052) 209-6859番

九州支店

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目12番12号(第5グリーンビル)
TEL (092) 434-1281番 FAX (092) 434-1284番

工場 千葉県印西市 ・ 大阪市港区福崎 ・ 熊本市北区植木

ホームページ <http://www.hirose-giken.co.jp>